

# ブラジル日本商工会議所 業種別フォーラム 「自動車部会」レポート

2023年3月22日

## < 2022年度の振り返り並びに今後の展望 >

### ➤ 四輪業界動向

1. 2022年の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ
3. 総括

### ➤ 二輪業界動向

# 四輪業界動向

1. 2022年の振り返りと今後の展望
2. 長期展望 重要テーマ
3. 総括

# 四輪業界動向

1. 2022年の振り返りと今後の展望

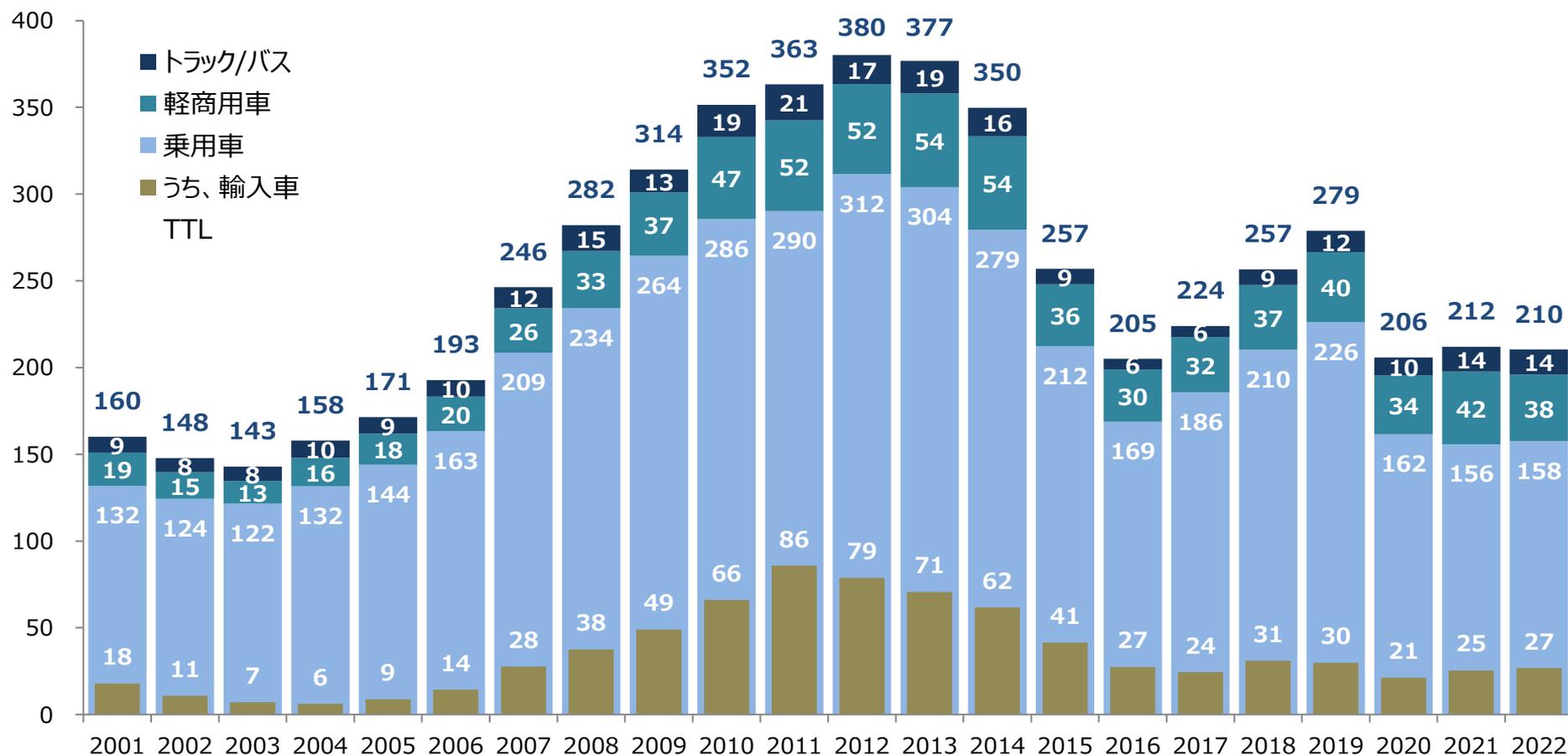
2. 長期展望 重要テーマ

3. 総括

# 1. 2022年 振り返り－販売台数 推移

出所：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計

(万台)

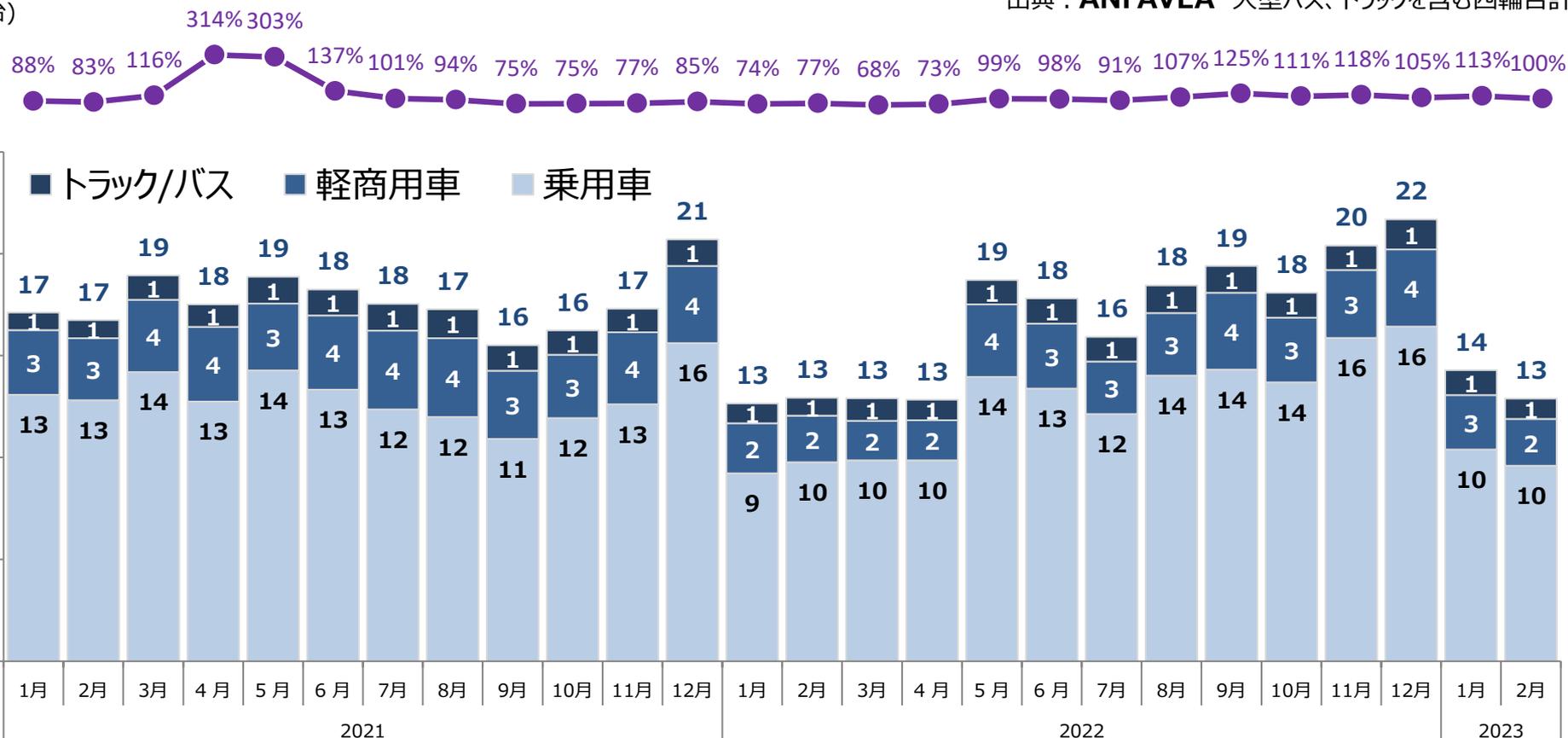


- 半導体の影響継続し、年間実績は210万台にとどまる。
- 輸入車の台数は近年横ばいも、電動車（BEV）の輸入急増

## 1. 2022年振り返り 一月別販売台数推移

(万台)

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



2021年

107万台  
前年比+32%  
ダイレクトセールス比率 **43%**

2022年

96万台  
前年比13%  
ダイレクトセールス比率 **46%**

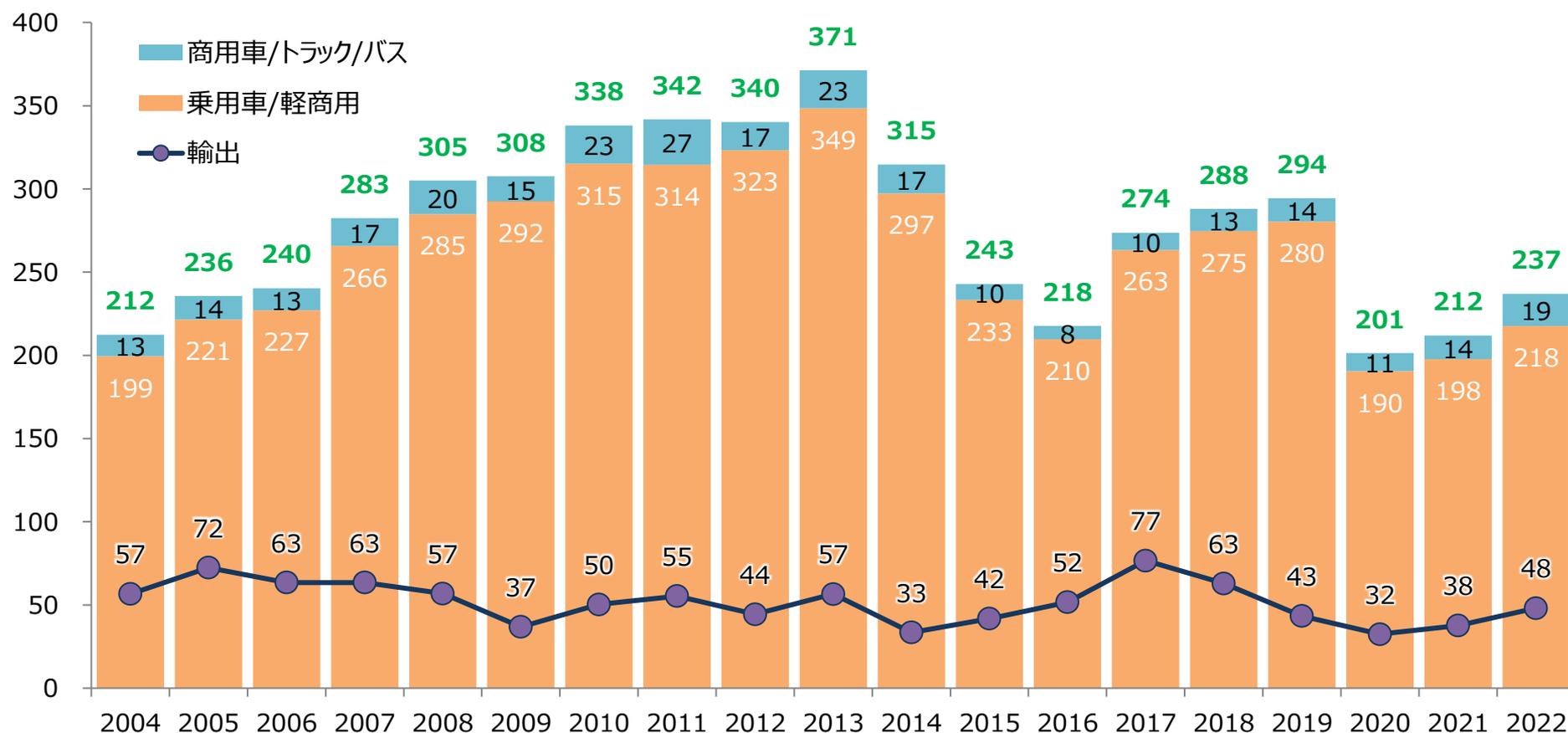
2023年

➤ 2022年度下半期は販売回復するも、インフレ・リアル安を背景に金利上昇、販売影響注視要

## 1. 2022年振り返り – 生産・輸出台数推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

(万台)



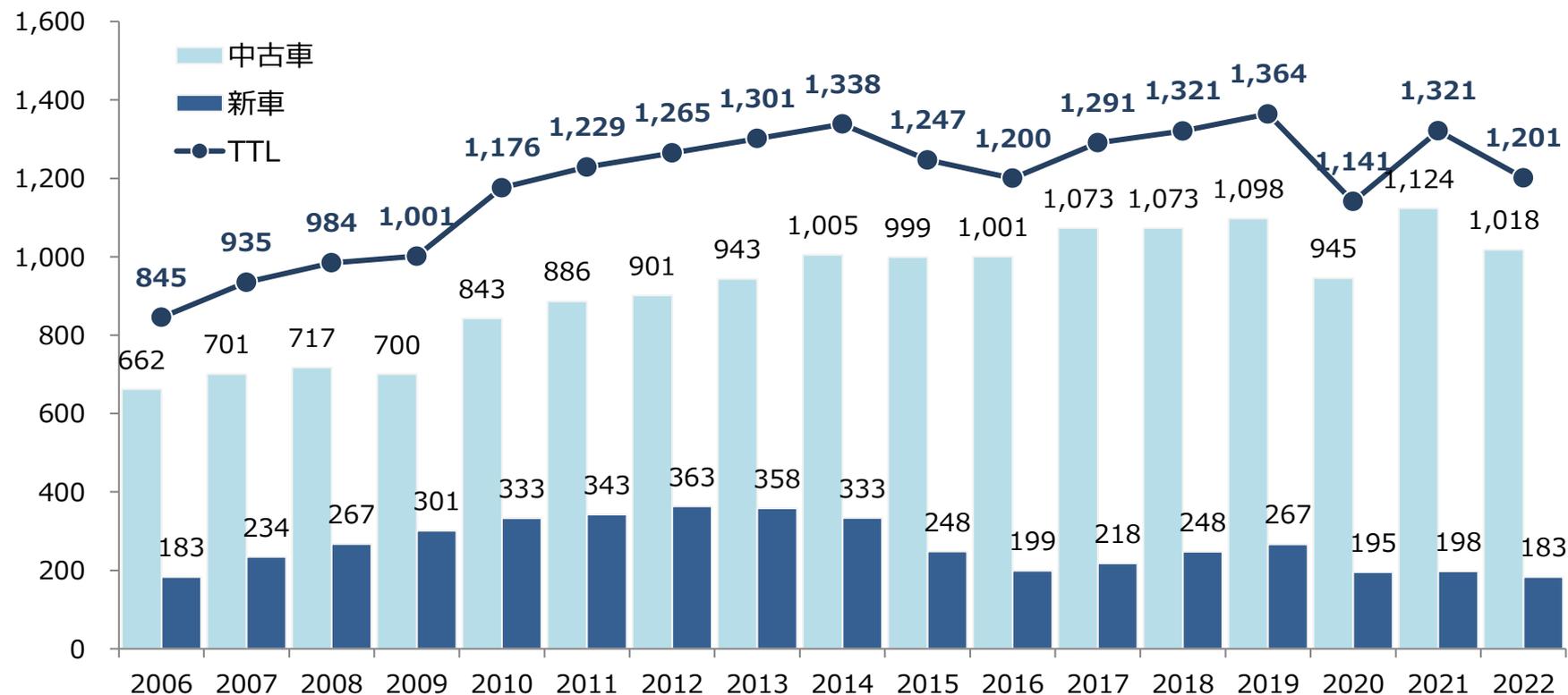
- コロナ影響により、近年生産減。足許は、部品供給（半導体など）不足も、生産は微増。
- アルゼンチンは外貨規制により、輸出減。一方、チリ、メキシコ、コロンビアは輸出増。

## 1. 2022年 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

(万台)

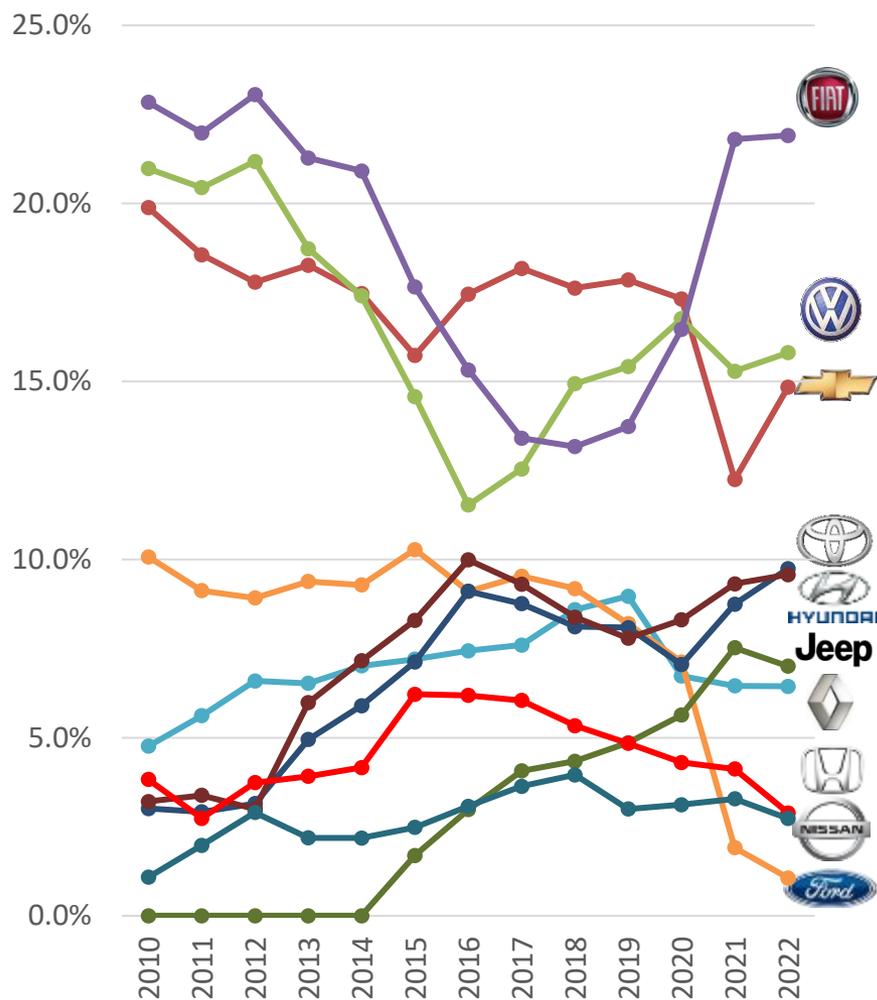
出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ



➤ 昨年まで続いた中古車の勢いに変化あり。中古車価格も変化を見せており、新車と共に動向要注視

## 1. 2022年 振り返り – ブランド別シェア



'21	台数	シェア
1	43.1	21.8%
2	30.2	15.3%
3	24.2	12.2%
4	18.4	9.3%
5	17.3	8.7%
6 <b>Jeep</b>	14.9	7.5%
7	12.8	6.5%
8	8.1	4.1%
9	6.5	3.3%
10	3.8	1.9%

単位：万台、トラック・バス除

'22	台数	シェア
1	43.0	21.9%
2	31.0	15.8%
3	29.1	14.8%
4	19.1	9.7%
5	18.8	9.6%
6 <b>Jeep</b>	13.7	7.0%
7	12.6	6.4%
8	5.6	2.9%
9	5.4	2.7%
10	2.8	1.1%

- 在庫不足の影響が軽微だったFiatが引き続きトップ。Stellantisグループはシェア30%以上。
- トヨタは4位に浮上。Fordはブラジルでの生産撤退により、シェア急落し14位へ。

# 1. 2023年 展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

## ◆ ブラジル市場・輸出・生産の2023年予測

単位：万台

	2022年 最終結果	2023年 予測
	ANFAVEA	ANFAVEA (2月発表)
国内市場	トラック・バス 含む総合計 <b>210</b> 前年比：-0.7%	<b>217</b> 前年比：+3.0%
	トラック・バス 除く合計 <b>196</b> 前年比：-0.8%	<b>204</b> 前年比：+4.1%
輸出台数	<b>48</b> 前年比：+27.8%	<b>47</b> 前年比：-2.7%
生産台数	<b>237</b> 前年比：+5.4%	<b>242</b> 前年比：+2.2%

- 23年の市場・生産共に昨年レベルと想定。
- 懸念：アルゼンチン選挙の影響、世界的なインフレ、通貨安等懸念材料多い。

# 四輪業界動向

1. 2021年 振り返り・2022年展望

2. 中長期展望 重要テーマ

3. 総括

## 2. 中長期展望

### <重要テーマ>

■ 自動車政策 Rota 2030

■ 排ガス規制 Proconve

■ 中国メーカー動向

■ EPA / FTA

■ 税体系(ICMS州税等)

本日はこちらをご説明

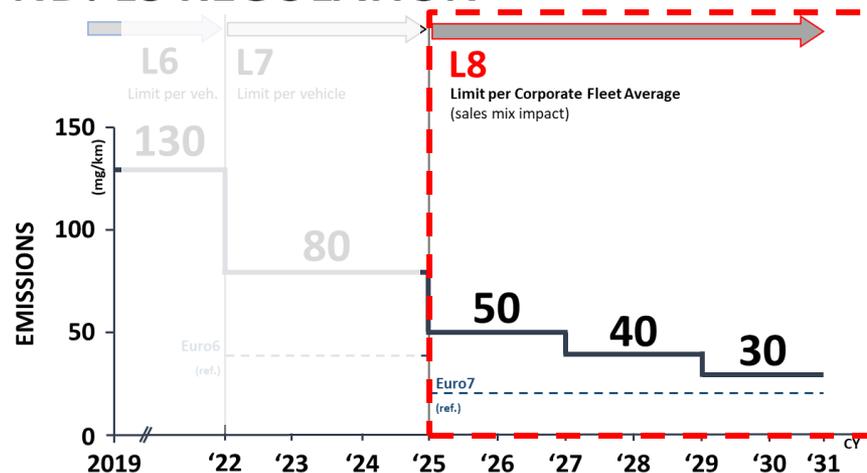
## 2. 中長期展望 – 次期自動車政策Rota 2030

- 昨年、政府は次期自動車政策 Rota 2030のフレームワークの議論を ANFAVEAと開始
  - 前政権の期待:
    - モビリティの脱酸素化に向け、
    - **電動自動車・バッテリーのローカル生産の促進**
    - **電動車のインフラ整備**
    - **エタノールの促進**
- 新政権になり、議論が再開されたものの、同方向で進行するか不透明
- 一方で**ローカル生産を促進するため、電動車の輸入関税のフェーズアウトを政府は強く要求**

## 2.中長期展望 – 排ガス規制

### BACKGROUND: L8 REGULATION

#### PASSENGER CARS (PC) (FFV, Gasoline)



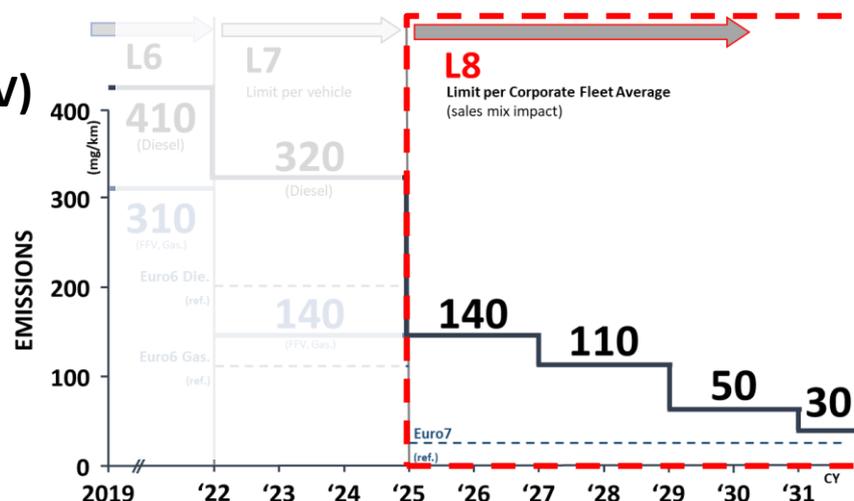
$EMISSIONS = HC [mg/km]$

HC = Hydrocarbon gases

Source: TDB GA

#### COMMERCIAL VEHICLES (CV) (Diesel, FFV, Gasoline)

Commercial Vehicle  
 • Payload > 1000Kg, or  
 • More than 9 occupants, or  
 • Off road: 4WD



- '25年～L8排ガス規制開始。（企業平均値での規制達成求められる = CAFÉ同様の仕組み）
- 段階的に規制値厳しくなり'29～商用車含めEuro7並みへ。

## 2.中長期展望 – 排ガス規制

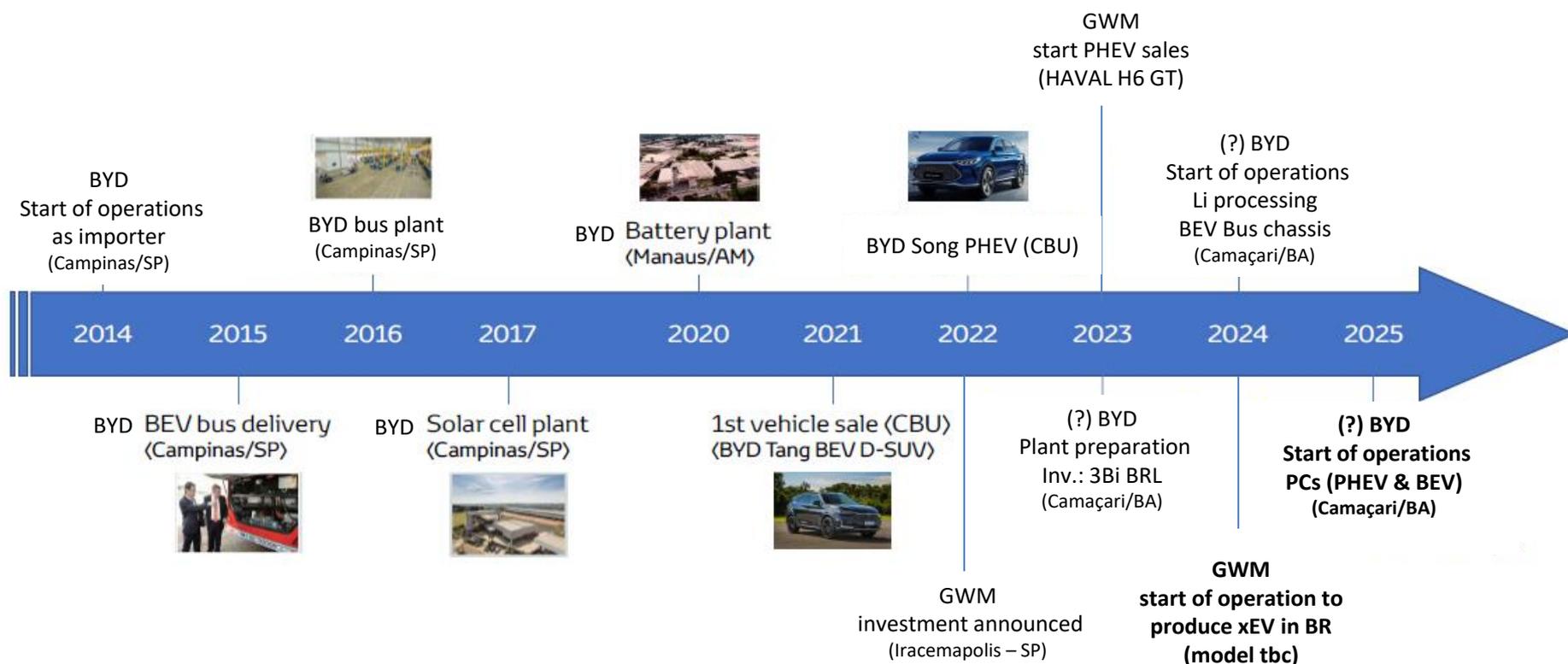
### Harmonization of Public Policies of Mobility



**Program Integration: Effective solution to combat global warming with the protagonism of biofuel**

- 政府はエタノールを促進するも、排気規制は逆にフレックス車に不利

## 2. 中長期展望 – 中国メーカーの動向



- 中国メーカーは積極的にフレックス燃料を取り入れた電動車( HEV/ PHEV + FFV) ローカル生産を公表

## 2. 中長期展望 – FTA/EPA

### <ブラジルに関連するFTA交渉>

協定	ステータス	内容	GDP・人口
EU・メルコスール	批准手続き待ち	・19年6月政治的合意 ・発効の為の批准手続き待ち	20.2兆ドル 8.0億人
カナダ・メルコスール	交渉中	・18年3月交渉開始から7ラウンドの会議を実施	4.6兆ドル 3.2億人
韓国・メルコスール	交渉中	・18年5月交渉開始から7ラウンドの会議を実施	4.5兆ドル 3.4億人
日・メルコスール	-	-	7.9兆ドル 4.2億人

- 日本とのEPA早期交渉を推進しつつ、EUや韓国等に劣後しない内容(自由化スケジュール・原産地規則等)を要望

# 四輪業界動向

1. 2021年 振り返り・2022年展望

2. 長期展望 重要テーマ

3. 総括

### 3. 総括 – 本日のまとめ

#### 2022年実績

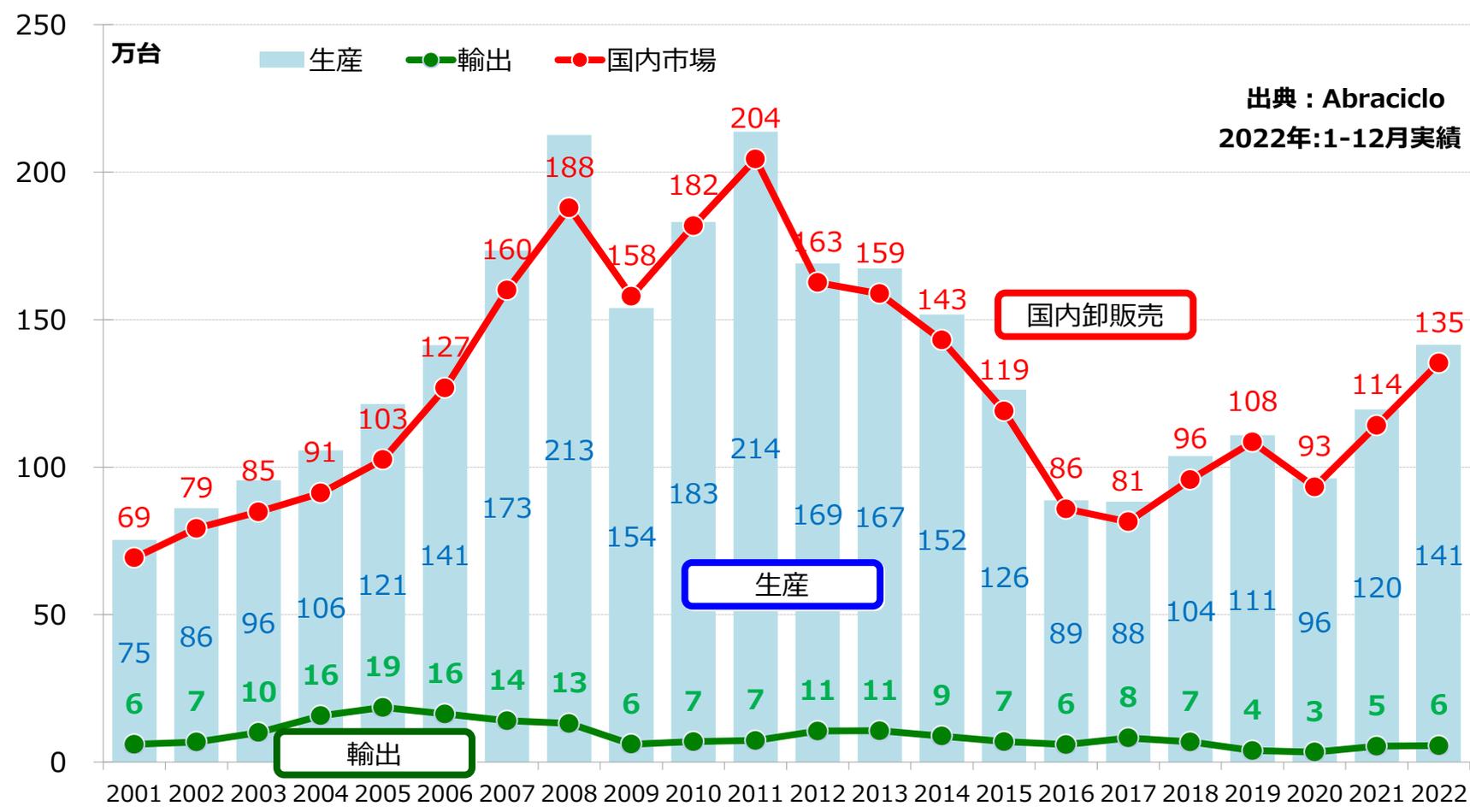
- **22年の市場は210万台**（前年同期比99.3%）と、**当初予測よりも販売は伸び悩む。今年の販売も昨年と同レベル（217万台）**を見込む。
- **生産は、引き続き部品供給不足が継続するも237万台（前年比105%）**。  
**今年も昨年と同レベル（242万台）を予想。**
- **輸出は、主要輸出国アルゼンチン向けは減少するも、コロンビア、チリ、メキシコの増加で、前年比27.8%増。今年も同様の傾向を予想も、先行き不透明感あり。**

#### 中長期展望

- **一貫性ある環境・自動車政策の要望（税制・規制の一致）**
- **中国メイクの躍進に対する備え**
- **日メルコFTAの推進**
- **輸出拡大を奨励する税制要望（ICMS還付制度整備など）**

# 二輪業界動向

# 二輪車 生産・販売 推移

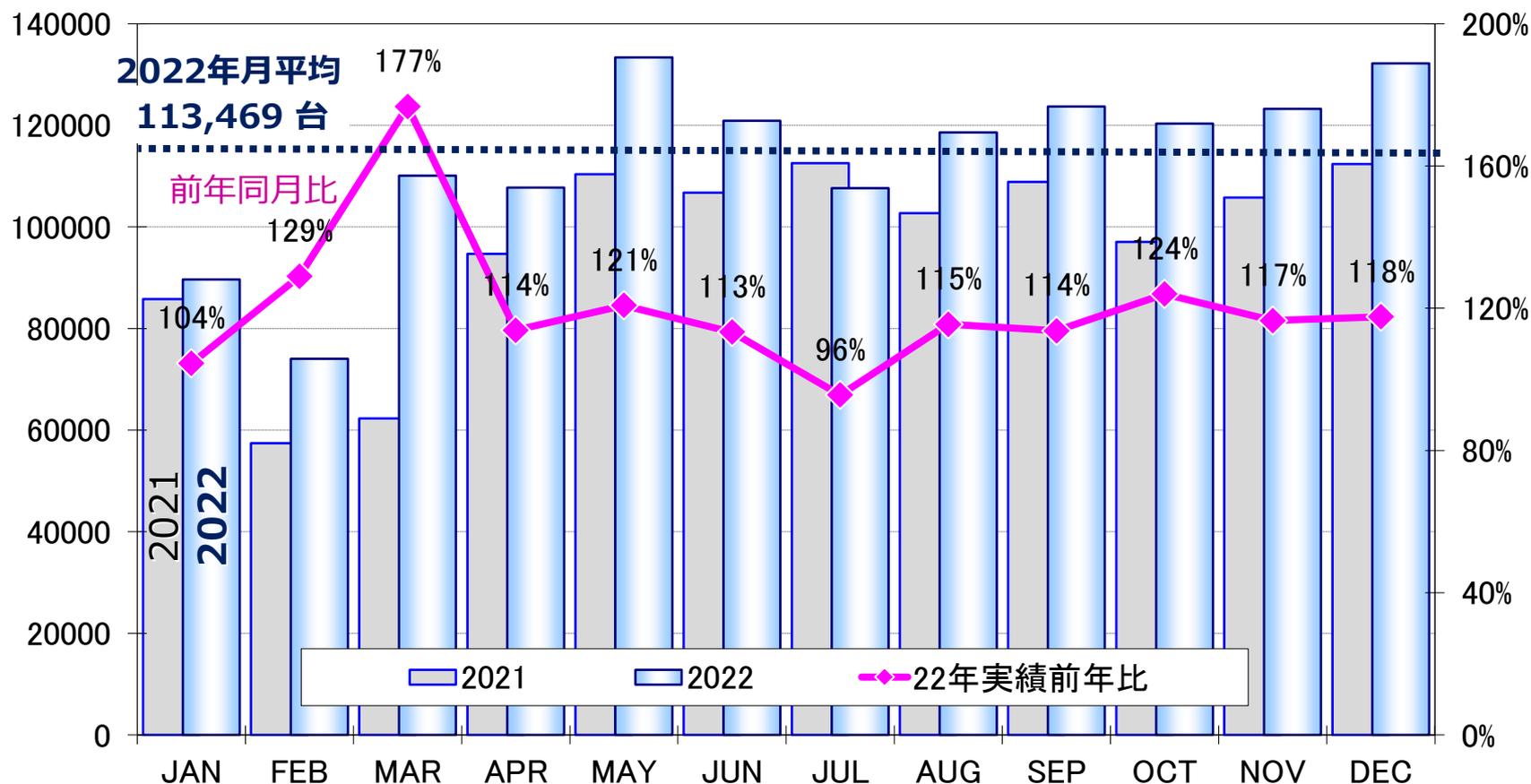


2022年 (1-12月) 実績		
卸:	135万台	(前年比 118%)
生産:	141万台	(同 118%)
輸出:	6万台	(同 103%)

# 二輪車 月別登録推移 (2021年vs2022年)

台数

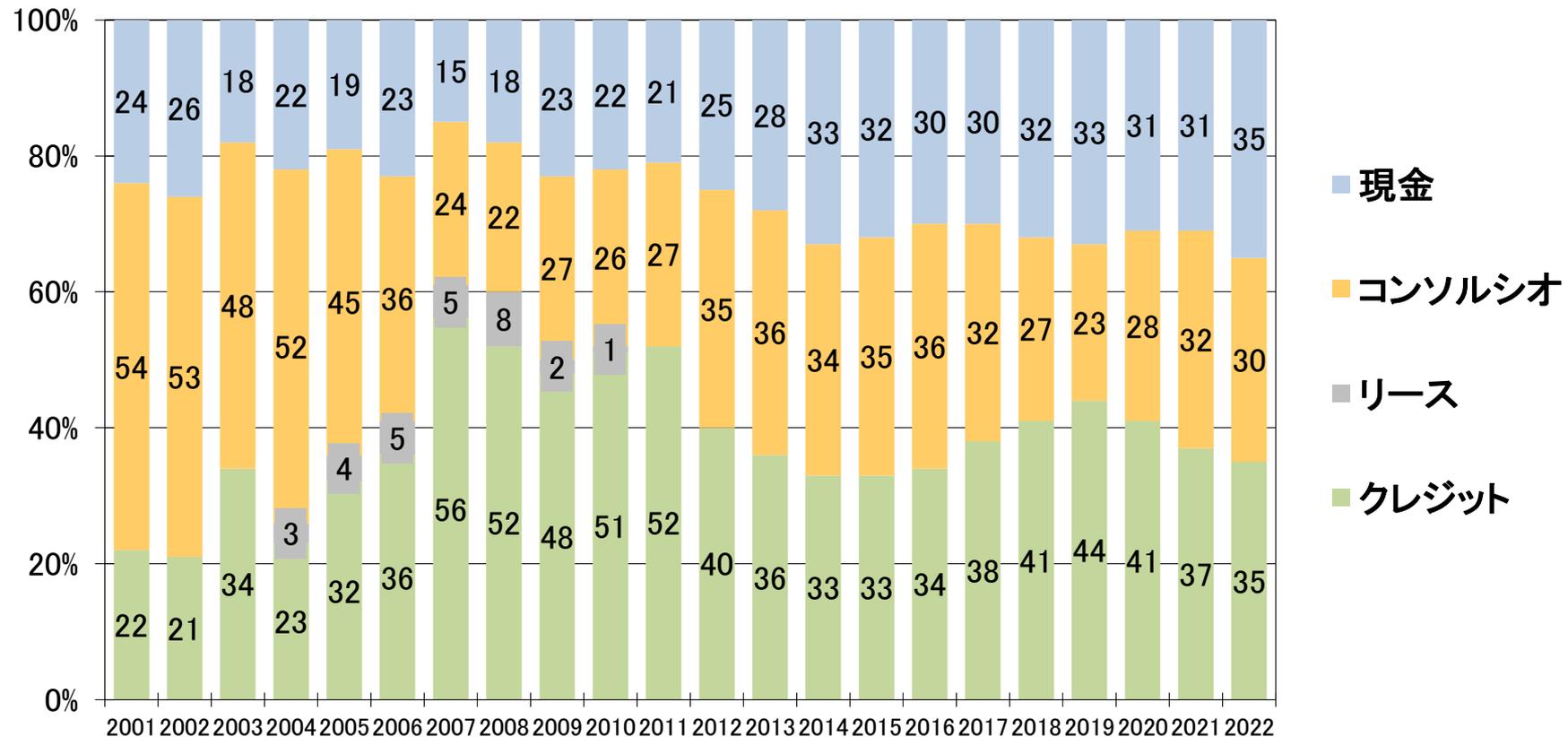
出典：DETRAN登録データ



月販は大きく前年越え (7月はHonda工場整備の定期シャットダウン影響での前年比減)

## 二輪車 支払形態別 販売比率

出典：ANEF（自動車メーカー系金融会社協会）



失業率改善や所得回復により現金(クレジットカード含)の比率微増

**ご清聴ありがとうございました**